様式３(2015.06改)

作成日　令和２年７月２２日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100596
事業所名	グループホーム　こころ岡崎

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	ホームの菜園で野菜作りに取り組む利用者と職員に、地域のお百姓さんが適切なアドバイスをくれる。 地域を巻き込んだ3周年記念行事が検討されているが、コロナ禍によって規模の縮小を余儀なくされている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員等が運営推進会議のメンバーである。 家族の面会や部外者のホーム来訪を制限していた時期には、市の指導によって書面会議として運営推進会議を行っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には地域包括支援センターの職員が参加し、情報を市に伝えている。 必要に応じて、管理者や介護支援専門員が行政の担当窓口を訪問し、良好な関係構築に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	運営推進会議への積極的な家族参加があり、普段の面会頻度も高い。 その際に家族の意見や要望を聞き取っており、可能な限りホーム運営に反映させている。 写真を多用したホームだよりは、隔月の刊行である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○